

ポリナールNo.500タイプはアクリル樹脂を主成分とする1液型塗料でスチロール樹脂成型品をはじめ、ABS樹脂成型品等各種プラスチックに塗装可能で幅広い作業性と高度の性能を具備した塗料で、家電製品、工業部品等に広く用いることができます。

◆特長

- 1.速乾性であり、付着性が良い。
- 2.硬度が高く、耐摩耗性が優れている。

◆種類

- 1.ポリナールNo.500…標準品の他に耐摩耗性良好品、速乾燥性、耐アルコール性対応品がありますのでご相談下さい。

◆標準塗装仕様

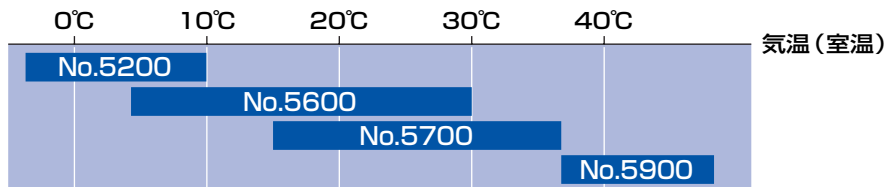
シンナー	合成樹脂塗料用シンナーNo.5000シリーズ
混合割合	塗料/シンナー=100/100~110(質量比)
塗装粘度	9~11s./IHS(20℃)
ガン口径	1.0~1.5mmφ
吹付圧力	0.3~0.5MPa(3~5kgf/cm ²)
セッティング	5~10min.
乾燥条件	60℃×20min.
標準膜厚	10~15μm

◆シンナーの使用区分

1.各シンナーの品番と特長

品番	乾燥性	特長
No.5200	速い	速乾型で冬場用シンナーとして使用する
No.5400	↑	低浸食シンナーでクレージング発生時使用する
No.5600		標準シンナーでエナメル、メタリックの塗装に使用する
No.5700	↓	遅乾シンナーで素地(スチロール樹脂)を浸食しにくい夏場用シンナーとして使用する
No.5900		遅い

2.気温(室温)の差による使い分け方



上記気温(室温)範囲を一応の目安として使い分けますが、塗装設備や環境によっても異なりますので、必要に応じて調整して下さい。

3.ブラッシング現象(塗装時の塗膜の白化現象)の対策

梅雨期や寒冷期のブラッシング対策としては添加剤No.25をリターダーシンナーとして使用して下さい。

湿度範囲	シンナーに対する添加剤No.25の添加量
80%以下	0~5%
80~90%	5~10%
90%以上	10~20%

使用シンナーに添加剤No.25を上記の比率(質量比)で添加して使用しますが、必要以上に添加すると乾燥性が悪くなりますので添加量については充分注意して下さい。

また、素材の予備乾燥や塗装後のセッティング時間を短縮することもブラッシング現象の防止に効果があります。

◆使用上の注意

- 1.塗料開缶後、充分攪拌して均一な状態にしてから使用して下さい。
- 2.シンナーは必ず指定シンナーを使用して下さい。市販のラッカーシンナー等は素材を侵すことがありますので、使用を避けて下さい。
- 3.成型時の離型剤、その他の付着物、埃等によく拭き取って清浄にしてから塗装して下さい。
- 4.素材によっては付着性に差がありますので、事前に充分塗膜性能等の検討を行って下さい。

◆試験成績表

塗料：1)ポリナールNo.500 014 シルバー
 2)ポリナールNo.500 211 シルバー
 素材：スチロール板
 乾燥：60℃×20min. 72h.放置後供試
 膜厚：10～12μm

試験項目	試験条件	結果	
		1)ポリナールNo.500 014 シルバー 標準品	2)ポリナールNo.500 211 シルバー 耐アルコール、 耐摩耗性良好品
付着性	1mm方眼100個、セロテープテスト (付着目数/碁盤目数)	100/100	100/100
鉛筆硬度	三菱ユニ鉛筆使用	H	H
耐アルコール性	エタノール(98%) ラビング W=4.9N(0.5kgf) 素地露出までの回数	50回以上	100回以上
耐湿性	40℃×90%RH×120h.	良好	良好
耐熱性	60℃×120h.	良好	良好
ヒートサイクル性	(-20℃×3h. 60℃×3h.)×10サイクル	良好	良好
不粘着性	発泡ポリエチレン W=4.9N(0.5kgf)で50℃×48h.	良好	良好
耐摩耗性	RCA摩耗テスト	30回以上	100回以上
耐候性	サンシャインウェザオメーター 200h.	色差	ΔE=0.5以内
		光沢保持率	95%以上

◆適用素材

スチロール樹脂、ハイインパクトスチロール樹脂、ABS樹脂、アクリル樹脂、
 ノリル樹脂*、硬質塩化ビニール樹脂等

◆備考

- 1.ポリナールNo.500シリーズとして、メタリック、レザートーン、レザーサテン、パールなどの模様塗料やクリヤー、カラークリヤーもあります。
- 2.他色(クリヤーを含む)塗料を塗り重ねるとクラックが発生する場合がありますので、事前に充分確認して下さい。
- 3.*ノリル樹脂にご使用の際は別途ご相談下さい。